

令和4年度
第2期おかやま創生総合戦略
効果検証
(令和3年度実績)

令和4(2022)年11月

岡山県

「第2期おかやま創生総合戦略」効果検証の概要

基本目標と重要業績評価指標（K P I）の達成状況を適切に把握し、対策の効果を検証した上で、必要な見直しと改善を図ることにより、翌年度の取組に生かしていくP D C Aサイクルを実施する。

なお、「第2期おかやま創生総合戦略」（以下、「第2期創生戦略」という。）は、県の最上位計画である「第3次晴れの国おかやま生き活きプラン」（以下、「プラン」という。）の各種施策を基本としていることから、検証に当たっては行政評価の結果を活用して行う。

【対策（4）の検証】

基本目標の進捗状況と政策パッケージの検証結果を踏まえ、対策の効果を検証する。

【政策パッケージ（15）の検証】

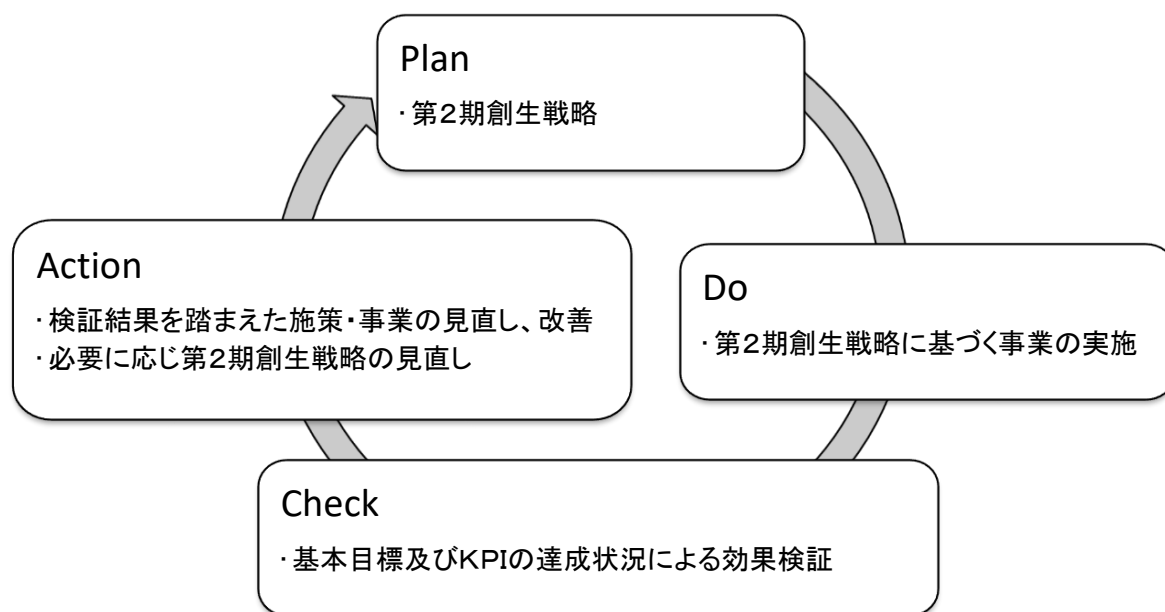
K P Iの達成状況と推進施策の評価結果（プランの施策評価による）を踏まえ、政策パッケージの効果を検証する。

【K P I（41※）の達成状況】

年度ごとにの達成率と達成度を算出する（プランにおける生き活き指標の評価方法に同じ）。

※重複分（地域おこし協力隊の新規着任数）を含む。

PDCAサイクル



対策1 若い世代の希望をかなえる少子化対策の推進(自然減対策)

基本目標1	若い世代の結婚から子育てまでの希望をかなえる
基本目標の概要	合計特殊出生率が伸び悩み、出生数の減少に歯止めがかからない中、結婚しない理由としては、「適当な相手に出会わないため」が最も多く、また、理想の子ども数と予定する子ども数に差が生じている。さらに、核家族化の進行、共働き家庭の増加、地域のつながりの希薄化などによる、子育てに対する不安や負担感、孤立感の解消のため、結婚、妊娠・出産、子育てのさらなる支援に総合的に取り組む必要がある。

1 対策

(1) 数値目標の進捗(達成)状況

指標名・グラフ (左が目標値、右が実績値)	目標値等		年度別状況				
			2021	2022	2023	2024	
合計特殊出生率 	現況値 2019年	目標値	目標値	1.49	1.50	1.51	1.52
	1.47	1.52	実績値	1.45			
	単位	—	達成率(%)	97.3			
			達成度	3			
	指標の説明	1人の女性とその年次の年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子どもの数に相当したもの					

(2) 検証結果

- ・社会全体で結婚や子育てを応援する気運を醸成し、少子化対策を推進するため、結婚支援施策の一つとして「おかやま縁むすびネット」の取組を進めているほか、従業員の仕事と家庭の両立支援に向けた「アドバンス企業」の認定、保育士・保育所支援センターにおける潜在保育士の掘り起こしときめ細かなマッチング等にも取り組んでいる。
- ・基本目標である「合計特殊出生率」は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による婚姻数の減少や妊娠を控える動きもあり、全国平均の1.30よりも高かったものの、目標値を下回る結果となった。全国順位は15位から14位に上昇し、中国地方では前年と同様に島根県、鳥取県、山口県に続く4位となっている。
- ・重要業績評価指標(KPI)については、「放課後児童クラブ実施箇所数」をはじめ、「おかやま出会い・結婚サポートセンターが関わった成婚数」、「保育士・保育所支援センターが関わった保育所等への就職者数」などで目標を達成しているが、「妊娠と年齢の関係について正しく知っている県民の割合」などは目標を達成できなかった。
- ・結婚支援の取組を一層強化していくほか、子育てに対する不安や負担感、孤立感の解消のため、社会全体で子育てを応援する気運を醸成し、結婚から子育てまでの希望をかなえる環境づくりを強力に進めていく必要がある。

2 政策パッケージ

<1-① 次世代育成に向けた気運の醸成>

(1) 重要業績評価指標(KPI)の進捗(達成)状況

指標名・グラフ (左が目標値、右が実績値)	目標値等		年度別状況				
			2021	2022	2023	2024	
おかやま子育て応援宣言企業のうち、従業員の仕事と家庭の両立支援に積極的な「アドバンス企業」認定数 <p>現況 2020 2021 2022 2023 2024</p>	現況値 2019年度	目標値	増加数 目標値	52 <69>	78 <95>	104 <121>	133 <150>
	17	150	増加数 実績値	57 <74>			
	単位	社	達成率(%)	109.6			
	指標の説明	おかやま子育て応援宣言企業のうち、従業員の仕事と家庭の両立支援に特に積極的な「アドバンス企業」認定数(達成率は現況値からの増加数で算出)					
	達成度	4					
妊娠と年齢の関係について正しく知っている県民の割合 <p>現況 2020 2021 2022 2023 2024</p>	現況値 2019年度	目標値	目標値	63.2	65.5	67.8	70.0
	58.6	70.0	実績値	54.6			
	単位	%	達成率(%)	86.4			
	指標の説明	20～34歳独身の男女を対象とした調査結果					
	達成度	3					

(2) KPI及び推進施策の進捗(達成)状況について

・ 県中小企業団体中央会や庁内関係部局と連携し、制度の周知に努めたことにより、『おかやま子育て応援宣言企業のうち、従業員の仕事と家庭の両立支援に積極的な「アドバンス企業」認定数』は、目標を上回る74社となった。

・ 中高校生に対しては、妊娠や出産の正しい知識の普及啓発を実施し、若い世代が妊娠・出産を視野に入れたライフプランを考える機会を提供した。また、おかやま妊娠・出産サポートセンターや県不妊専門相談センターにおいて、専門的な相談に応じた。

・ 女性を対象とした就労支援講座を開催し、再就職に向けたマインド形成及び就職活動に役立つ具体的な情報提供を行うとともに、女性が働きやすい環境づくりに向けて、企業を対象とした取組も行った。

・ 若者の再就職・再入社等を応援することを県内企業が宣言する「おかやま若者再チャレンジ応援宣言企業」の促進や、県内経済団体等に対する若年者の正社員採用等に関する働きかけ等を行った。

<1-② 結婚の希望をかなえる環境づくり>

(1) 重要業績評価指標(KPI)の進捗(達成)状況

指標名・グラフ (左が目標値、右が実績値)	目標値等		年度別状況				
			2021	2022	2023	2024	
おかやま出会い・結婚サポートセンターが関わった成婚数 <p>現況 2020 2021 2022 2023 2024</p>	現況値 2019年度	目標値	増加数 目標値	124 <313>	186 <375>	248 <437>	311 <500>
	189	500	増加数 実績値	178 <367>			
	単位	組	達成率(%)	143.5			
	指標の説明	おかやま出会い・結婚サポートセンターが行った支援をきっかけに成婚した数(達成率は現況値からの増加数で算出)					
	達成度	5					

(2)KPI及び推進施策の進捗(達成)状況について

・おかもやま縁むすびネットは、県内3箇所のおかもやま出会い・結婚サポートセンターを拠点とし、結婚支援ボランティアのサポートや、自宅閲覧機能の導入等システムの利便性向上に取り組んでおり、累計367組の成婚が報告されるなど、成果は着実に上がっている。

<1-③ 妊娠・出産の希望がかなう環境づくり>

(1)重要業績評価指標(KPI)の進捗(達成)状況

指標名・グラフ (左が目標値、右が実績値)	目標値等		年度別状況				
			2021	2022	2023	2024	
妊娠・出産について満足している母親の割合 	現況値 2019年度	目標値	目標値	84.3	84.5	84.8	85.0
	83.9	85.0	実績値	84.0			
			達成率(%)	99.6			
	単位	%	達成度	3			
	指標の説明	産後に助産師等から指導・ケアを十分に受けることができたと感じている者の割合					

(2)KPI及び推進施策の進捗(達成)状況について

・市町村や保健所等との連携を強化し、母子保健等の推進を図ったほか、妊娠等で悩む人の相談体制の充実や、妊孕性等の正しい知識の普及啓発に取り組んだ。

・高度な医療を提供する周産期母子医療センターへの財政支援により、安定的な運営を図るとともに、関係者で構成する周産期医療協議会を運営し、周産期医療の課題改善、関係機関間の連携強化に取り組んだ。

<1-④ 子育て支援の充実>

(1)重要業績評価指標(KPI)の進捗(達成)状況

指標名・グラフ (左が目標値、右が実績値)	目標値等		年度別状況				
			2021	2022	2023	2024	
保育士・保育所支援センターが関わった保育所等への就職者数 	現況値 2019年度	目標値	増加数 目標値	144	216	288	362
	158	520	増加数 実績値	<302>	<374>	<446>	<520>
			達成率(%)	<320>			
	単位	人	達成度	112.5			
	指標の説明	潜在保育士の就職支援、保育所等の潜在保育士活用支援等に取り組む「保育士・保育所支援センター」が関わった保育所等への就職者数(達成率は現況値からの増加数で算出)					
放課後児童クラブ実施箇所数 	現況値 2019年度	目標値	増加数 目標値	34	51	68	87
	618	705	増加数 実績値	<652>	<669>	<686>	<705>
			達成率(%)	<672>			
	単位	箇所	達成度	158.8			
	指標の説明	保護者が昼間家庭にいない小学生の放課後等の居場所として運営されている施設の数(達成率は現況値からの増加数で算出)					

(2)KPI及び推進施策の進捗(達成)状況について

- ・保育士・保育所支援センターにおいて、潜在保育士の掘り起こしときめ細かなマッチングに取り組み、累計320名の保育所等への就職につながった。
- ・放課後児童クラブの実施主体である市町村に対し、運営費や整備費の補助、事業実施に係る助言等の支援を行った結果、「放課後児童クラブ実施箇所数」は672箇所となり、目標を大きく上回った。
- ・小児救急医療電話相談事業（#8000）で年間約1万件の休日・夜間の相談に応じることで、保護者の不安解消等が図られた。また、小児科医等で構成する小児医療協議会を設置し、内科医師等を対象とする研修会の内容を検討した。
- ・子どもの貧困対策の推進に係る子どもの居場所確保について、市町村やスクールソーシャルワーカー等への研修会や、居場所づくりの実践者によるアドバイス支援を行うことで、新たな子どもの居場所の開設につながった。

対策2 つながり築き、人を呼び込む郷土岡山づくりの推進(社会減対策)

基本目標2	つながりを築き、人を呼び込む郷土岡山をつくる
基本目標の概要	近年、東京圏への人口一極集中が全国的に進む中、本県においても転出超過は拡大傾向が続いており、特に、進学や就職による若い世代の流出が多く、この世代の流出を抑制するとともに、人材の還流を進める必要がある。また、新型コロナウイルス感染症を契機として新たな生活様式による人とのつながり方や、テレワークの普及など働き方の変化が進む中、地方移住への機運の高まりや、距離を越えて人や組織等をつなげるデジタル技術の活用拡大も踏まえ、県外から人を呼び込む取組を強化する必要がある。

1 対策

(1) 数値目標の進捗(達成)状況

指標名・グラフ	目標値等		年度別状況				
			2021	2022	2023	2024	
社会増減数(外国人を含む) 	現況 2020年	目標値	目標値	-1,200	-900	-500	+1
	-1,571	転入超過 +1	実績値	-4,776			
	単位	人/年	達成率(%)	—			
			達成度	1			
	指標の説明	県毎月流動人口調査による、(転入者数)－(転出者数)					

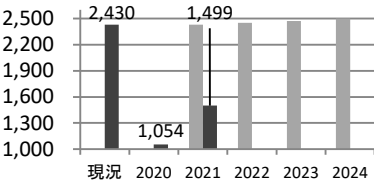
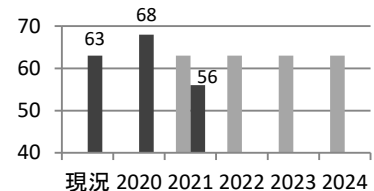
(2) 検証結果

- ・若者の県内定着を進めるため、就職面接会の実施や県内事業所等に係る情報提供に取り組み、希望者の就職決定率を向上させたほか、移住希望者に対し、ポータルサイトやセミナー等を通じ、ニーズに応じたきめ細かな情報提供や支援を行った。また、岡山県の魅力を広めるため、SNSや首都圏等のメディア、「とっとり・おかやま新橋館」等で、県の情報発信等に努めた。
- ・基本目標である「社会増減数(外国人を含む)」は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、日本人の転入が前年比94.7%、外国人の転入(国外からの転入含む)が前年比72.3%と転入者が大きく減少したことにより、目標値を大幅に下回った。
- ・重要業績評価指標(KPI)については、「県内大学留学生の県内就職率」をはじめ、「県の働きかけによる首都圏等テレビ露出の広告換算額」、「県公式SNSのフォロワー等の数」などで目標を達成しているが、「移住相談件数」などは目標を達成できなかった。
- ・東京圏への人口一極集中の流れが全国的に進む中、新型コロナウイルス感染症を契機とした社会の変化を踏まえつつ、移住希望者への情報発信や受入体制の整備を進めるとともに、若者の還流と県内への定着、郷土岡山を担う人材育成や魅力発信により、県外から人を呼び込む取組を強力に進めていく必要がある。

2 政策パッケージ

<2-① 移住・定住の促進>

(1) 重要業績評価指標(KPI)の進捗(達成)状況

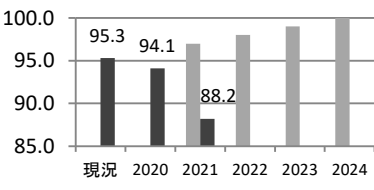
指標名・グラフ (左が目標値、右が実績値)	目標値等		年度別状況				
			2021	2022	2023	2024	
移住相談件数 	現況値 2019年度	目標値	目標値	2,430	2,450	2,470	2,500
	2,430	2,500	実績値	1,499			
			達成率(%)	61.7			
	単位	件/年	達成度	1			
	指標の説明	県の相談窓口、県主催のフェア等における移住相談件数					
地域おこし協力隊の新規着任数 	現況値 2019年度	目標値	目標値	63	63	63	63
	63	63	実績値	56			
			達成率(%)	88.9			
	単位	人/年	達成度	2			
	指標の説明	都市部から地方へ移住し、地域の新たな担い手として期待される「地域おこし協力隊」の県内新規着任数					

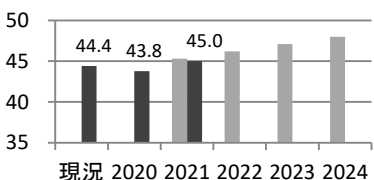
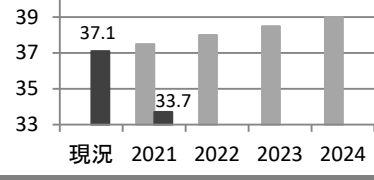
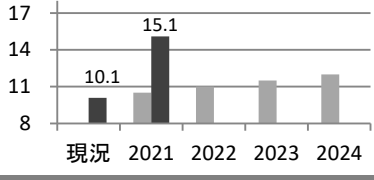
(2) KPI及び推進施策の進捗(達成)状況について

- ・新型コロナウイルス感染症拡大によるイベント中止等により、「移住相談件数」は目標に達しなかったが、ポータルサイトやセミナー等を通じ、効率的かつ効果的な情報発信を行った。また、岡山県空き家情報流通システムを活用し、移住希望者に空き家を紹介するとともに、移住者向けの空き家改修を支援した。
- ・「地域おこし協力隊の新規着任数」は目標に達しなかったが、市町村の協力隊活用促進や、関心のある層に向けたオンラインセミナー等を実施した。
- ・移住につながる関係人口の創出・拡大のためのSNS等を活用した県の魅力発信として、プレゼント企画やインスタグラムで行うフォトコンテスト等を実施し、フォロワー数が増加した。引き続き、情報発信力を高めるとともに、話題性の高い企画を実施するなど、SNSを効果的に活用する必要がある。
- ・ウィズコロナに対応した副業・兼業など、働き方の新しいスタイルや仕事と家庭の両立支援などを紹介するガイドブックを作成した。引き続き、多様な働き方に対する意識啓発を行う必要がある。

<2-② 若者の還流・定着>

(1) 重要業績評価指標(KPI)の進捗(達成)状況

指標名・グラフ (左が目標値、右が実績値)	目標値等		年度別状況				
			2021	2022	2023	2024	
インターンシップや企業訪問等を体験した高校生の割合 	現況値 2019年度	目標値	目標値	97.0	98.0	99.0	100.0
	95.3	100.0	実績値	88.2			
			達成率(%)	90.9			
	単位	%	達成度	3			
	指標の説明	インターンシップや企業訪問等を体験した高校生の割合					

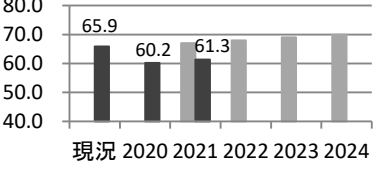
指標名・グラフ (左が目標値、右が実績値)	目標値等		年度別状況				
			2021	2022	2023	2024	
県内大学新卒者の県内就職率 	現況値 2016～2019 年度の平均	目標値	目標値	45.3	46.2	47.1	48.0
	44.4	48.0	実績値	45.0			
			達成率(%)	99.3			
	単位	%	達成度	3			
	指標の説明	県内大学新卒者の就職者数に占める県内への就職者数の割合					
本県出身の県外大学新卒者のUターン就職率 	現況値 2016～2019 年度の平均	目標値	目標値	37.5	38.0	38.5	39.0
	37.1	39.0	実績値	33.7			
			達成率(%)	89.9			
	単位	%	達成度	3			
	指標の説明	本県出身の県外大学新卒者で就職した者のうち、県内にUターン就職した者の割合					
県内大学留学生の県内就職率 	現況値 2015～2018 年度の平均	目標値	目標値	10.5	11.0	11.5	12.0
	10.1	12.0	実績値	※ 15.1			
			達成率(%)	143.8			
	単位	%	達成度	5			
	指標の説明	県内大学留学生の県内への就職率 ※2021年度実績は2022年12月頃に判明するため、2020年度実績により評価する。					

(2) KPI及び推進施策の進捗(達成)状況について

<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、インターンシップ等の機会の制限がある中でも、就職面接会の実施や岡山労働局との連携により、県内事業所等の情報を得る機会を提供し、希望者の就職決定率を向上させた。 ・留学生を対象とした就職支援セミナーや、県内企業と留学生等との交流会、県内企業に向けた外国人材受入れの際の法的手続き等に係るセミナーの開催等により、「県内大学留学生の県内就職率」は目標を達成することができた。 ・好事例の収集・普及に加え、学校・家庭・地域・企業等の連携や、課題解決型学習などの指導内容・指導方法等の工夫により、小・中学校におけるキャリア教育をより一層推進していく必要がある。

<2-③ 地方創生を担う人材の育成>

(1) 重要業績評価指標(KPI)の進捗(達成)状況

指標名・グラフ (左が目標値、右が実績値)	目標値等		年度別状況				
			2021	2022	2023	2024	
将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合(小学校6年生) 	現況値 2018年度 (2019年度調査)	目標値	目標値	67.0	68.0	69.0	70.0
	65.9	70.0	実績値	61.3			
			達成率(%)	91.5			
	単位	%	達成度	3			
	指標の説明	全国学力・学習状況調査結果					

指標名・グラフ (左が目標値、右が実績値)	目標値等		年度別状況				
			2021	2022	2023	2024	
将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合(中学校3年生) 	現況値 2018年度 (2019年度調査)	目標値	目標値	45.5	47.0	48.5	50.0
	44.1	50.0	実績値	42.2			
			達成率(%)	92.7			
	単位	%	達成度	3			
	指標の説明	全国学力・学習状況調査結果					
「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」と回答した児童生徒の割合(小学校6年生) 	現況値 2018年度 (2019年度調査)	目標値	目標値	57.0	58.0	59.0	60.0
	55.0	60.0	実績値	52.0			
			達成率(%)	91.2			
	単位	%	達成度	3			
	指標の説明	全国学力・学習状況調査結果					
「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」と回答した児童生徒の割合(中学校3年生) 	現況値 2018年度 (2019年度調査)	目標値	目標値	42.5	45.0	47.5	50.0
	38.9	50.0	実績値	42.5			
			達成率(%)	100.0			
	単位	%	達成度	4			
	指標の説明	全国学力・学習状況調査結果					
全国規模の理数・情報・政策提案等のコンテストへの県立高校生の参加者数 	現況値 2019年度	目標値	目標値	658	682	706	730
	611	730	実績値	405			
			達成率(%)	61.6			
	単位	人/年	達成度	2			
	指標の説明	各種コンテストへの県立高校生の参加者数					

(2)KPI及び推進施策の進捗(達成)状況について

- ・「全国規模の理数・情報・政策提案等のコンテストへの県立高校生の参加者数」について、2020年度と比較して参加者数は増加するなど、子どもたちのチャレンジする機会の創出に寄与することができたものの、引き続き新型コロナウイルス感染症拡大による影響はあったため、目標には達しなかった。
- ・郷土愛の醸成と地域に貢献する人材の育成のため、発達段階に応じて、地域と連携した教育活動を推進し、子どもたちが地域で活躍する場の創出に取り組む。また、県下の少年非行情勢の更なる改善のため、学校警察連絡室による取組等を引き続き進めていく必要がある。
- ・小中学生の離島での自然・伝統等の体験や、大学生が地域課題解決に向けて地域と協働して行う調査・研究活動を通じて、地域に対する理解や関心、愛着心を醸成できたほか、大学生等のボランティアを地域活動へ派遣し、地域づくりへの参加を促進した。
- ・県立大学において、企業・自治体等でのインターンシップや卒業生とのキャリア形成に関する勉強会の実施、副専攻「吉備の杜」による地域創生推進士の認定など、学生の地元定着を目的とした教育研究を進めたことで、県立大学生の県内就職率が大きく上昇した。

<2-④ 情報発信力の強化>

(1)重要業績評価指標(KPI)の進捗(達成)状況

指標名・グラフ (左が目標値、右が実績値)	目標値等		年度別状況					
			2021	2022	2023	2024		
全国における本県の魅力度 	現況値 2020年 (2020年夏調査)	目標値	目標値	32	28	24	20	
			実績値	33				
		33	20	達成率(%)	—			
		単位	位	達成度	2			
	指標の説明	民間シンクタンク調査による47都道府県の魅力度の全国順位						
県の働きかけによる首都圏等テレビ露出の広告換算額 	現況値 2017～2019 年度の平均	目標値	目標値	20	20	26	26	
			実績値	26				
		26	26	達成率(%)	130.0			
		単位	億円/年	達成度	5			
	指標の説明	首都圏等のメディアへの働きかけにより、県の情報が露出された首都圏等のテレビ番組(地上波)を広告料として換算した額						
県公式SNSのフォロワー等の数 	現況値 2019年度	目標値	増加数 目標値	38	47	56	63	
			増加数 実績値	46				
		77	140	達成率(%)	121.1			
		単位	千人	達成度	5			
	指標の説明	県の魅力発信に活用しているフェイスブック、ツイッター、インスタグラムのフォロワー数等の計(達成率は現況値からの増加数で算出)						

(2)KPI及び推進施策の進捗(達成)状況について

- ・全国における本県の魅力度について、「県の働きかけによる首都圏等テレビ露出の広告換算額」及び「県公式SNSのフォロワー等の数」は、目標を上回った。本県の強みである資源や素材の魅力を全国に浸透させるため、今後とも、様々な媒体により、効果的に情報発信をする必要がある。
- ・「晴れの国おかやま検定」について、表彰制度や様々な広報媒体を活用したPR、検定応援サイトの利便性の向上などに取り組んだ結果、受験者数の伸びにつながった。今後とも、受験者の拡大に向け、効果的な情報発信に取り組む必要がある。
- ・「とっとり・おかやま新橋館」では、新型コロナウイルス感染症拡大により、様々な制約がある中であつても、オンラインショップの運営やSNSの活用による発信、テイクアウトメニューの提供など、県の情報発信等に努めた。

対策3 地域の持続的発展のための経済力の確保

基本目標3	持続的に発展できる経済力を確保する
基本目標の概要	生産年齢人口の減少や国内市場の縮小が想定される中、人手不足や市場の変化に対応する必要があるほか、新型コロナウイルス感染症の影響による新しい生活様式への対応が求められている。また、若者の県内定着や、安心して結婚、出産、子育てを行うことができる安定した雇用や収入の確保のため、本県の経済を維持・発展させる必要がある。さらに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響や、これに起因する生産拠点の国内回帰や地方への企業分散の動向を把握するとともに、企業の投資を一層促進する必要がある。

1 対策

(1) 数値目標の進捗(達成)状況

指標名・グラフ (左が目標値、右が実績値)	目標値等		年度別状況				
			2021	2022	2023	2024	
従業員1人当たり売上高(生産性向上指標) 	現況値 2018年	目標値	目標値	26,100	27,300	27,700	28,600
	28,254	28,600	実績値	※ 25,058			
			達成率(%)	96.0			
	単位	千円/年	達成度	3			
	指標の説明	企業活動基本調査に基づく県内企業の売上高を従業者数で除した額 ※2021年実績は2023年6月頃に公表されるため、2020年実績により評価する。					

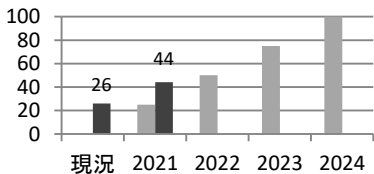
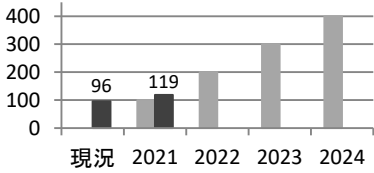
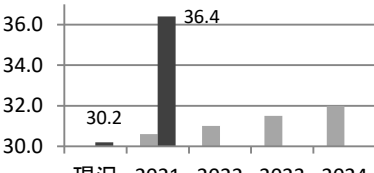
(2) 検証結果

- ・生産性の向上と産業の活性化の促進のため、金融機関と連携した求人ニーズの掘り起こしや産学連携等に向けたマッチング支援、意欲ある県内企業への研究開発支援等に取り組んだほか、テレワークの一層の普及・定着を図るセミナーの開催や男女共同参画推進に取り組む企業に対してのアウトリーチ型支援などにより、多様な働き方の推進に努めた。
- ・基本目標である「従業員1人当たり売上高(生産性向上指標)」は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、2020年度と比較すると、売上高が6.1%減少したことにより、目標値を大幅に下回った。
- ・重要業績評価指標(KPI)については、「県融資制度に占める創業者の融資割合」をはじめ、「企業と大学との共同研究センターにおける産学連携等に向けたマッチング支援件数」、「あっせん・サポート等による取引成立件数」などで目標を達成しているが、「観光消費額」などは目標を達成できなかった。
- ・研究開発や優れた人材の育成による生産性向上に加え、企業誘致や販路の開拓・拡大などによる県内産業の活性化を推進し、併せて、働き方改革やウィズコロナといった多様な働き方の実現に取り組むことで、安定した雇用や収入など、生活基盤の確保に向けた取組を強力に進めていく必要がある。

2 政策パッケージ

<3-① 生産性向上の促進>

(1) 重要業績評価指標(KPI)の進捗(達成)状況

指標名・グラフ (左が目標値、右が実績値)	目標値等		年度別状況				
			2021	2022	2023	2024	
企業と大学との共同研究センターにおける産学連携等に向けたマッチング支援件数 	現況値 2019年度	目標値	目標値	25	50	75	100
	26件/年	100	実績値	44	/	/	/
	単位	件	達成率(%)	176.0	/	/	/
			達成度	5	/	/	/
	指標の説明	企業と大学との共同研究センターを通じて、大学等との共同研究に向けて、マッチング支援を行った件数(目標値は2021～2024年度の累計)					
経営革新に取り組む中小企業・小規模事業者数 	現況値 2016～2019 年度の平均	目標値	目標値	100	200	300	400
	96社/年	400	実績値	119	/	/	/
	単位	社	達成率(%)	119.0	/	/	/
			達成度	4	/	/	/
	指標の説明	中小企業等経営強化法に基づき、新事業を行い経営の向上を図ること等を目的とした経営革新計画を作成した中小企業・小規模事業者の数(目標値は2021～2024年度の累計)					
県内大学工学系学生の県内就職率 	現況値 2016～2019 年度の平均	目標値	目標値	30.6	31.0	31.5	32.0
	30.2	32.0	実績値	36.4	/	/	/
	単位	%	達成率(%)	119.0	/	/	/
			達成度	4	/	/	/
	指標の説明	県内大学の工学系学部新卒者の就職者数に占める県内への就職者数の割合					

(2) KPI及び推進施策の進捗(達成)状況について

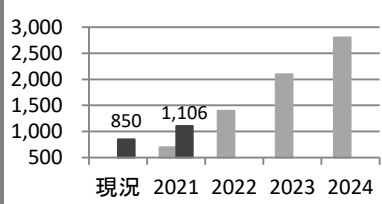
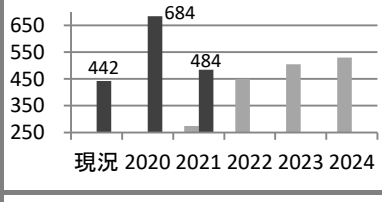
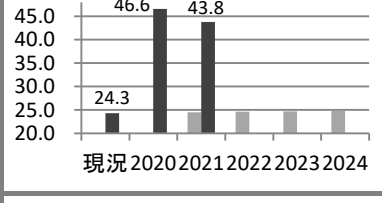
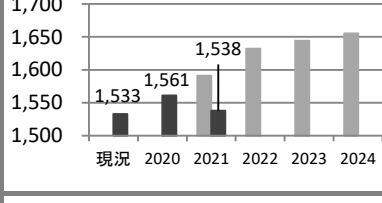
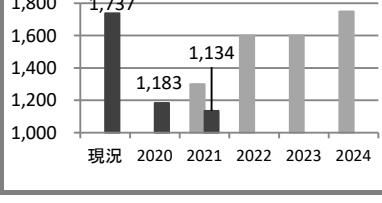
・県内外の学生を対象に、県内企業の先輩社員と意見交換等を行うWeb座談会を開催するとともに、金融機関と連携した求人ニーズの掘り起こしを行う等、県内中小企業の人材確保を図った。また、企業と大学との共同研究センターに係る認知が、大学コーディネーターや金融機関、支援機関の間で広がり、これら機関の紹介による相談やマッチングが増えた。

・「経営革新に取り組む中小企業・小規模事業者数」については、経営革新計画の策定支援と併せて、計画承認企業を対象とした設備投資への補助を実施したことで、承認件数が増加した。

・産地の規模拡大等による供給力強化や、スマート農業の現地実証、農地の集積・集約化、化学肥料農薬を低減する環境保全型農林水産業の推進等を行った。また、6次産業化に取り組もうとする意欲ある農林漁業者等の相談対応や、商品開発・販路開拓などの取組段階に応じた対応、県産加工品のPRキャンペーンによる消費拡大に取り組んだ。

<3-② 産業の活性化>

(1)重要業績評価指標(KPI)の進捗(達成)状況

指標名・グラフ (左が目標値、右が実績値)	目標値等		年度別状況				
			2021	2022	2023	2024	
新規立地企業等の投資額 	現況値 2016～2019 年度の平均	目標値	目標値	700	1,400	2,100	2,800
	850億円/年	2,800	実績値	1,106	/	/	/
	単位	億円	達成率(%)	158.0	/	/	/
	指標の説明	新規立地企業の投資額(目標値は2021～2024年度の累計)					
	達成度	5	/	/	/	/	/
あっせん・サポート等による取引成立件数 	現況値 2016～2019 年度の平均	目標値	目標値	275	450	505	530
	442	530	実績値	484	/	/	/
	単位	件/年	達成率(%)	176.0	/	/	/
	指標の説明	(公財)岡山県産業振興財団、岡山県中小企業団体中央会等が県内の受注希望企業に取引のあっせん・サポートを行い、成約に至った件数					
	達成度	5	/	/	/	/	/
県融資制度に占める創業者の融資割合 	現況値 2019年度	目標値	目標値	24.5	24.6	24.7	24.8
	24.3	24.8	実績値	43.8	/	/	/
	単位	%	達成率(%)	178.8	/	/	/
	指標の説明	県融資制度のうち、新規創業資金の占める割合					
	達成度	5	/	/	/	/	/
農林水産業産出額 	現況値 2018年	目標値	目標値	1,591	1,632	1,644	1,655
	1,533	1,655	実績値	※ 1,538	/	/	/
	単位	億円/年	達成率(%)	96.7	/	/	/
	指標の説明	農林水産業産出額 ※2021年実績は2023年3月頃に確定するため、2020年実績により評価する。					
	達成度	3	/	/	/	/	/
観光消費額 	現況値 2015～2019 年の平均	目標値	目標値	1,300	1,600	1,600	1,750
	1,737	1,750	実績値	1,134	/	/	/
	単位	億円/年	達成率(%)	87.2	/	/	/
	指標の説明	観光入込客の消費総額					
	達成度	3	/	/	/	/	/

(2)KPI及び推進施策の進捗(達成)状況について

- ・「新規立地企業等の投資額」は、企業の投資意欲が回復し、大型投資が相次ぐ状況となり、目標を上回る結果となった。また、産業用地の確保・物流機能の強化に向けた取組として、水島港の優位性向上により玉島ハーバーアイランドにおける企業立地が進んだほか、国道2号岡山バイパスの渋滞対策を国に要望した結果、5箇所の交差点の立体化が決定した。
- ・意欲ある県内企業への研究開発費支援や、開発段階に応じた指導・助言等により、新技術・新製品の開発を促進した。また、各種商談会の開催や出展支援等を行うことで、新型コロナウイルス感染拡大の影響で受注量が減少している県内企業のビジネスマッチングや県内企業の取引拡大に寄与した。
- ・野菜や果実については、巣ごもり需要を受けて単価が上昇するなど産出額を押し上げる要因もあったが、米については外食向け需要の減少等で米価が下落し、大幅減となったため、農林水産業全体の産出額としては前年度を下回る結果となった。県産農産物の生産振興のほか、国内外に向けた情報発信やECサイトを活用した販売促進など、マーケティングの強化を通じて、より一層需要拡大に取り組む必要がある。
- ・緊急事態宣言の発出等による行動制限や、外国人観光客の入国制限が行われたことなどから、本県への観光入込客数はコロナ禍前から減少し、「観光消費額」は目標値を下回った。そのような中ではあったが、岡山後樂園では感染対策を行いながらイベント等を実施し、県を代表する観光施設として、魅力づくりに取り組んだ。また、港を中心としたにぎわいの創出として、ポートセールスや宇野港の認知度を高める広告掲載等に取り組んだ。

<3-③ 働き方改革の推進>

(1)重要業績評価指標(KPI)の進捗(達成)状況

指標名・グラフ (左が目標値、右が実績値)	目標値等		年度別状況				
			2021	2022	2023	2024	
1人当たり年間総実労働時間 	現況値 2019年	目標値	目標値	1,735	1,718	1,701	1,684
	1,771	1,684	実績値	1,735			
	単位	時間	達成率(%)	100.0			
	指標の説明	事業所規模30人以上の1人当たり年間総実労働時間数					
			達成度	4			
女性の生産年齢人口に対する常用労働者の割合 	現況値 2019年	目標値	目標値	61.3	62.3	63.5	64.7
	62.4	64.7	実績値	64.1			
	単位	%	達成率(%)	104.6			
	指標の説明	女性のうち、生産年齢人口(15～64歳)に対する常用労働者(期間を定めずに、又は1カ月を超える期間を定めて雇用されている者)の割合					
			達成度	4			

(2)KPI及び推進施策の進捗(達成)状況について

- ・働き方改革推進フォーラムや、テレワークの一層の普及・定着を図るセミナーを開催するなど、誰もが働きやすい環境づくりの推進に取り組んだ。「1人当たり年間総実労働時間」は1,735時間と、目標どおりの推移となっており、引き続き、多様な働き方の推進に取り組む企業の支援を行っていく。
- ・男女共同参画推進に取り組む人材育成を目的とした企業研修会を実施するとともに、企業の求めに応じたアウトリーチ型の支援を行うことで、「女性の生産年齢人口に対する常用労働者の割合」は64.1%となり、目標値を上回った。今後は成果の横展開を図っていく必要がある。
- ・障害者就業・生活支援センターを核とし、雇用と福祉が連携した取組を推進した結果、障害のある人の一般就労への移行は着実に増加している。就労定着支援にも重点的に取り組むことで、障害のある人の就労を一体的に支援していく必要がある。

対策4 地域の持続的発展のための活力の維持

基本目標4	地域の活力を維持する
基本目標の概要	人口減少や高齢化の進行により、生活サービス産業や公共交通の撤退、住民組織の担い手不足など、地域社会の活力が失われつつある中、引き続き地域で安心して暮らしていくため、小さな拠点の形成促進、集落機能の維持・確保、地域住民自らが地域課題の解決に向けた取組を持続的に実践する仕組みづくりの推進、道路環境の整備などが必要である。

1 対策

(1) 数値目標の進捗(達成)状況

指標名・グラフ (左が目標値、右が実績値)	目標値等		年度別状況				
			2021	2022	2023	2024	
地域課題の解決に向けた取組を持続的に実践する地域運営組織の数 <p>現況 2020 2021 2022 2023 2024</p>	現況値 2019年度	目標値	増加数 目標値	32 <290>	42 <300>	52 <310>	62 <320>
	258	320	増加数 実績値	34 <292>			
	単位	組織	達成率(%)	106.3			
	指標の説明	集落機能の維持・強化に向け、地域で暮らす人々が中心となって、地域課題の解決に向けた取組を持続的に実践する組織の数(達成率は現況値からの増加数で算出)					
				達成度	4		

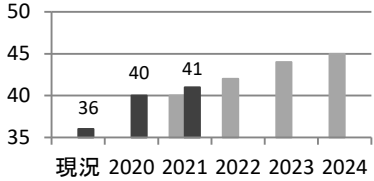
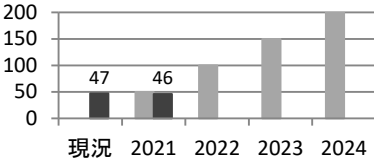
(2) 検証結果

- ・地域の活力の維持に向けて、地域運営組織の多様な活動の核となる拠点施設の整備を支援したほか、交通難所の改善や道の駅の利便性の向上を推進した。また、自主防災活動の啓発や防災リーダーの養成、県民総ぐるみの各種犯罪抑止対策の推進による、安全・安心な地域づくりにも取り組んだ。
- ・基本目標である「地域課題の解決に向けた取組を持続的に実践する地域運営組織の数」は、人口減少や高齢化が進行する中で、地域の生活や暮らしを守るために市町村においても地域運営組織の設立・充実を図る機運が高まるとともに、組織設立に向けた取組が進んだため、目標を達成できた。
- ・重要業績評価指標（KPI）については、「農家民宿延べ宿泊者数」をはじめ、「集落生活圏を維持するための小さな拠点の形成数」、「県内の医師不足地域の医療機関に勤務する地域卒業者医師数」などで目標を達成しているが、「地域おこし協力隊の新規着任数」などは目標を達成できなかった。
- ・人口減少や高齢化が進行する中であっても、地域の特性を踏まえた拠点機能の維持・強化に取り組むとともに、地域社会の活性化、地域の防災力強化及び地域医療・福祉の確保を図ることで、すべての人が安心して暮らし続けることができる活力ある地域づくりを強力に進めていく必要がある。

2 政策パッケージ

<4-① 拠点機能の確保>

(1) 重要業績評価指標(KPI)の進捗(達成)状況

指標名・グラフ (左が目標値、右が実績値)	目標値等		年度別状況				
			2021	2022	2023	2024	
集落生活圏を維持するための小さな拠点の形成数 	現況値 2019年度	目標値	増加数 目標値	4	6	8	9
	36	45	増加数 実績値	<40>	<42>	<44>	<45>
	単位	箇所	達成率(%)	<41>			
	指標の説明	集落生活圏を維持するため、日常生活に必要なサービス機能の維持・確保を図る小さな拠点の形成数(達成率は現況値からの増加数で算出)					
			達成度	125.0			
地域の拠点性を高めることにつながる交通難所改善箇所数 	現況値 2019年度	目標値	目標値	50	100	150	200
	47箇所/年	200	実績値	46			
	単位	箇所	達成率(%)	92.0			
	指標の説明	拠点的地域等の機能強化や日常生活の利便性向上につながる交通難所改善箇所数(目標値は2021~2024年度の累計)					
			達成度	3			

(2) KPI及び推進施策の進捗(達成)状況について

・地域の特性を踏まえた拠点機能の強化のため、前年度に拠点形成計画を策定したモデル地区において、地域運営組織の多様な活動の核となる拠点施設整備を支援したほか、新たなモデル地区においても拠点形成計画策定を支援しており、住民による集落機能の維持・確保に向けた取組の展開が期待される。

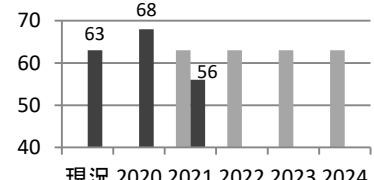
・地域の生活を支える道づくりとして、すれ違いが困難な箇所や見通しが悪い交通難所を46箇所改善し、中山間地域等の拠点的地域の機能強化などに取り組んだ。また、道の駅における地方創生の拠点としての取組では、ベビーコーナーを設置するなど、利便性の向上を推進した。

・拠点間を結ぶ広域的・幹線的なバス路線等を、国、市町村、事業者と役割分担しながら維持・確保するとともに、持続可能な地域公共交通ネットワークの構築に取り組む市町村を支援したことで、地域公共交通の維持・確保に向けた取組が進んだ。

・持続可能な都市づくりの促進として、集約型都市構造の実現に向けたまちづくりに取り組む市町村に対し、国の支援制度や先進事例の紹介などの必要な助言を行い、2021年度までに8市町が立地適正化計画等を策定した。

<4-② 地域社会の活性化>

(1) 重要業績評価指標(KPI)の進捗(達成)状況

指標名・グラフ (左が目標値、右が実績値)	目標値等		年度別状況				
			2021	2022	2023	2024	
地域おこし協力隊の新規着任数 	現況値 2019年度	目標値	目標値	63	63	63	63
	63	63	実績値	56			
	単位	人/年	達成率(%)	88.9			
	指標の説明	都市部から地方へ移住し、地域の新たな担い手として期待される「地域おこし協力隊」の県内新規着任数					
			達成度	2			

指標名・グラフ (左が目標値、右が実績値)	目標値等		年度別状況				
			2021	2022	2023	2024	
農家民宿延べ宿泊者数 	現況値 2019年度	目標値	目標値	2,100	3,300	4,600	6,000
	4,986	6,000	実績値	3,928			
			達成率(%)	187.0			
	単位	人/年	達成度	5			
	指標の説明	「晴れの国おかやま農家民宿」における延べ宿泊者数					
おかやま県民文化祭の主催・参加プログラム件数 	現況値 2019年度	目標値	目標値	179	182	186	190
	176	190	実績値	173			
			達成率(%)	96.6			
	単位	件	達成度	3			
	指標の説明	2003年から毎年開催されている県民総参加の文化の祭典「おかやま県民文化祭」の主催・参加プログラム件数					

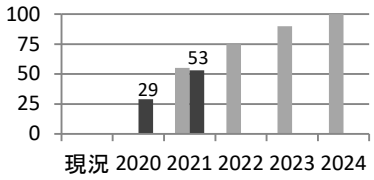
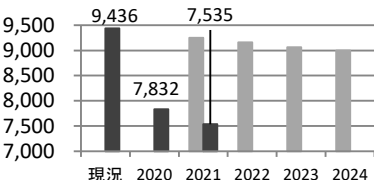
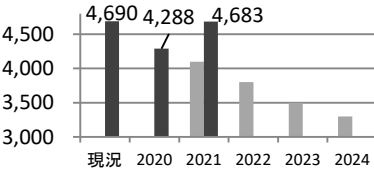
(2) KPI及び推進施策の進捗(達成)状況について

- ・「地域おこし協力隊の新規着任数」は目標には達しなかったが、地域おこし協力隊の活用促進や、「おかやま元気！集落」制度による集落機能の維持・確保に向けた地域の自主的な取組の支援、地域支援を目的とする市町村庁内推進体制の整備支援、ボランティア派遣等による地域づくりへの民間参加の促進等に取り組んだ。
- ・SNSやホームページ等により農家民宿等の魅力を発信するとともに、地域をけん引する人材の育成やインバウンドの受け入れに向けた講座を開催し、農山漁村地域への誘客促進を図った。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、「おかやま県民文化祭の主催・参加プログラム数」の目標は未達成であったが、市町村や文化関係団体等と連携し、地域資源を活用した各種文化芸術イベントを展開するなど、文化による地域の活性化を図った。
- ・誰もが活躍できる地域づくりとして、必要な障害福祉サービス等の確保や障害特性に応じた就労への支援を行うとともに、県庁アートギャラリーや障害者スポーツ教室を開催した。また、社会貢献や健康づくりなどに主体的に取り組む老人クラブの活動を支援することにより、高齢者の社会参加活動の促進に取り組んだ。

<4-③ 安全・安心な地域づくり>

(1) 重要業績評価指標(KPI)の進捗(達成)状況

指標名・グラフ (左が目標値、右が実績値)	目標値等		年度別状況				
			2021	2022	2023	2024	
自主防災組織率 	現況値 2020年4月	目標値	目標値	88.7	90.2	91.7	93.0
	87.2	93.0	実績値	87.9			
			達成率(%)	99.1			
	単位	%	達成度	3			
	指標の説明	管内世帯数に占める自主防災組織が活動範囲としている地域の世帯数の割合(速報値)					

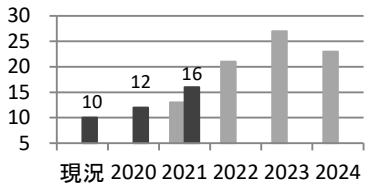
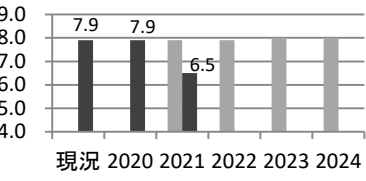
指標名・グラフ (左が目標値、右が実績値)	目標値等		年度別状況				
			2021	2022	2023	2024	
河道内整備の実施延長 	現況値 —	目標値	目標値	55	75	90	100
	—	100	実績値	53	/	/	/
	—	100	達成率(%)	96.4	/	/	/
	単位	km	達成度	3	/	/	/
	指標の説明	土砂堆積や樹木繁茂により流水が阻害されている箇所のうち、優先度が高く対策が必要な箇所の河道内整備の実施延長					
刑法犯認知件数 	現況値 2019年	目標値	目標値	9,249	9,157	9,065	9,000
	9,436	9,000	実績値	7,535	/	/	/
	9,436	9,000	達成率(%)	122.7	/	/	/
	単位	件/年	達成度	5	/	/	/
	指標の説明	警察において発生を認知した刑法犯事件の数					
人身交通事故件数 	現況値 2019年	目標値	目標値	4,100	3,800	3,500	3,300
	4,690	3,300	実績値	4,683	/	/	/
	4,690	3,300	達成率(%)	87.6	/	/	/
	単位	件/年	達成度	3	/	/	/
	指標の説明	警察において発生を認知した、人の死亡又は負傷を伴う交通事故の数					

(2) KPI及び推進施策の進捗(達成)状況について

- ・市町村と連携し、自主防災活動の重要性を県民に啓発するとともに、自主防災組織の中核となる防災リーダーの養成に取り組んだ。
- ・2021年度までに総延長53 kmの河道内整備を実施した。引き続き、効果的・効率的に河道内整備に取り組み、安全・安心な地域づくりにつなげる。
- ・県民総ぐるみの各種犯罪抑止対策を推進した結果、「刑法犯認知件数」は7,535件と19年連続で減少し、戦後最少を更新した。一方で、これまで減少傾向にあった「人身交通事故件数」は4,683件と増加に転じており、県下の交通情勢は厳しい状況にある。
- ・水害、高潮・津波、土砂災害、大規模地震発生に備え、河道内整備、護岸等の整備、特に重要な緊急輸送道路上の橋梁の耐震化などを進めた。また、空き家の適正管理、利活用の推進として、除却を行う市町村への支援や空き家の利活用に関するフォーラムの開催などを行った。

<4-④ 医療・福祉の確保>

(1)重要業績評価指標(KPI)の進捗(達成)状況

指標名・グラフ (左が目標値、右が実績値)	目標値等		年度別状況				
			2021	2022	2023	2024	
県内の医師不足地域の医療機関に勤務する地域卒卒業医師数 	現況値 2020年4月	目標値	目標値	13	21	27	23
	10	23	実績値	16			
	単位	人	達成率(%)	123.1			
	指標の説明	県の医師確保対策として岡山大学及び広島大学の医学部医学科に設置している地域枠コースを卒業し、県内の医師不足地域の医療機関に勤務する医師の数					
			達成度	5			
介護予防のための通いの場への参加率 	現況値 2019年度	目標値	目標値	7.9	7.9	8.0	8.0
	7.9	8.0	実績値	6.5			
	単位	%	達成率(%)	82.3			
	指標の説明	地域に住む高齢者が定期的集まり、さまざまな活動を通じて仲間と楽しんだりリフレッシュしたりと、日々の生活に活気を取り入れ、健康維持や介護予防にもつながる「通いの場」への参加率					
			達成度	3			

(2)KPI及び推進施策の進捗(達成)状況について

- ・ 地域医療支援センターがマッチングを行い、目標を上回る16人の地域卒卒業医師が、県内の医師不足地域の医療機関で勤務することとなった。また、地域医療構想の実現に向け、140床の回復期機能病床の整備を支援した。
- ・ 「介護予防のための通いの場への参加率」は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により、前年度に比べ1.4%減の6.5%となった。
- ・ 介護職場認証評価制度の実施により、働きやすい職場環境づくりに取り組む事業所の認証を行い、確認した取組内容を公表することで、事業所の切磋琢磨を促し、福祉・介護業界全体のレベルアップ、福祉・介護職員の定着、求職者に選んでもらえる職場づくりを進めた。

基本目標の数値目標及び重要業績評価指標（KPI）の種類と評価

類型	評価の考え方	達成度の評価基準
実数又は割合で示す指標	<p><計算方法> 達成率＝実績値／目標値</p> <p>削減目標の場合 達成率＝目標値／実績値</p>	<p>5：達成率が120%以上 4：達成率が100%以上120%未満 3：達成率が80%以上100%未満 2：達成率が50%以上80%未満 1：達成率が50%未満</p> <p><達成率が上限100%の場合> 5：達成率が100% 4：達成率が90%以上100%未満 3：達成率が70%以上90%未満 2：達成率が50%以上70%未満 1：達成率が50%未満</p>
全国順位で示す指標	<p>効果的な取組により、現状の改善と目標の達成が求められるものであるから、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標より上位となった場合 5 ・目標を達成した場合 4 ・現状を維持した場合 2 <p>として評価する。</p>	<p>5：目標値より上位 4：目標値 3：目標値と現況値の中間値以上 2：現況値以上 1：現況値より下位</p>
<p>実数で示す指標のうち、現況維持に意義があり、現況値に対する最終目標値の増減割合が極めて小さい指標</p> <p>（最終目標値／現況値が0.9以上1.1以下）</p>	<p><計算方法> 達成率＝実績値／目標値</p> <p>削減目標の場合 達成率＝目標値／実績値</p>	<p>5：達成率が110%以上 4：達成率が100%以上110%未満 3：達成率が90%以上100%未満 2：達成率が80%以上90%未満 1：達成率が80%未満</p>